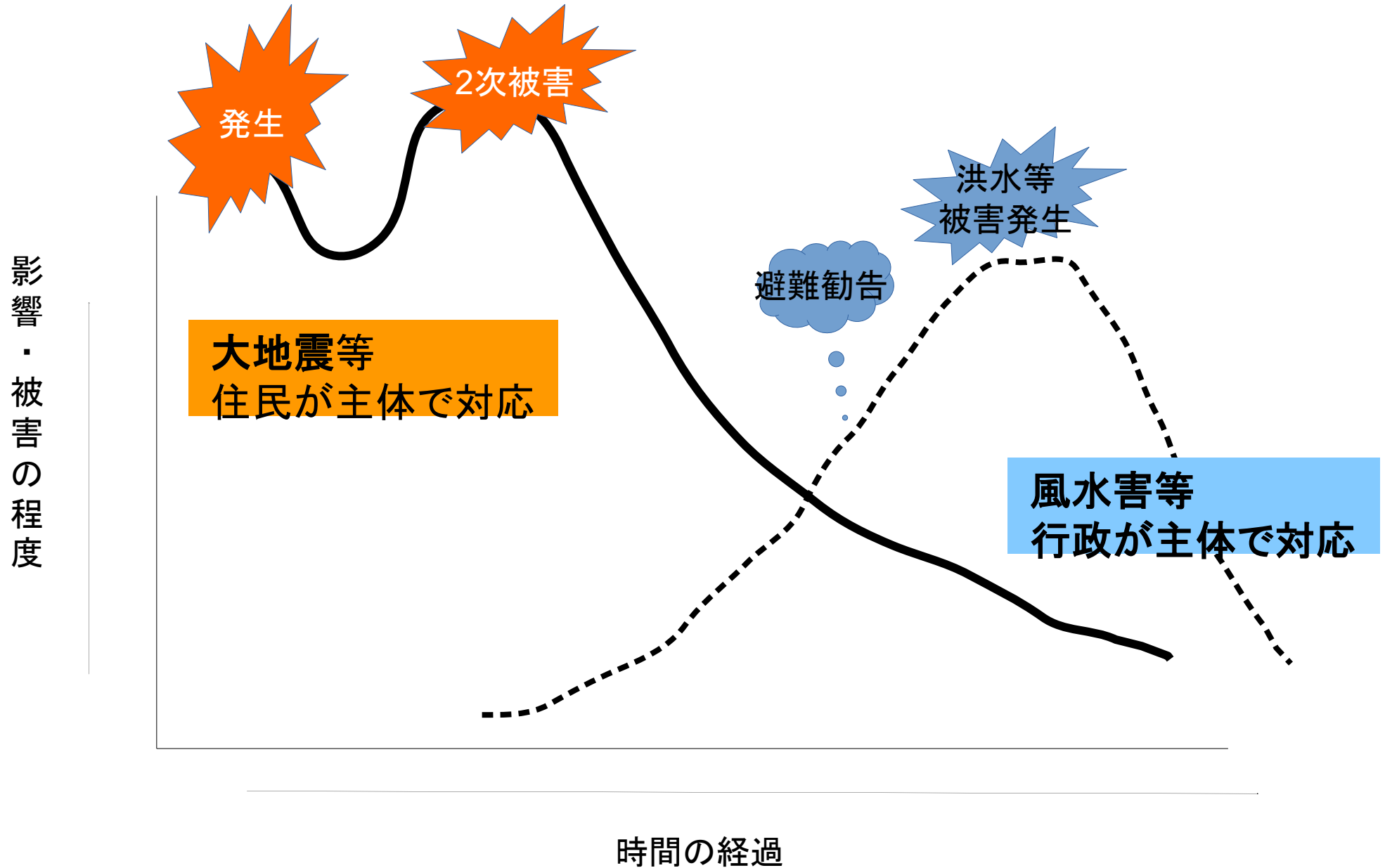


地域防災と地域防災拠点運営委員会

山田敏明 2026年7月5日

- ①防災に関する行政の規定・枠組み
 - ・災害のタイプによる行政と地域の役割分担
横浜市は先進的？
 - ・地震災害に対する、地域防災拠点の運営と
役割（運営委員会）
- ②地域防災拠点と5自治会連携について

災害種別による特性 (発生と被害のパターンの違い)



被災地の地域特性(人口密度)と 横浜市の対応の違い

熊本地震 (2016年) 震度7~5強以上 熊本県内
能登半島地震 (2024年) 震度7 (本震) 能登半島

※ © Peace winds Japan.org

項目	熊本県	能登半島 (珠洲市)	横浜市 (港南区)
面積	7,409Km ²	1,980Km ² (249Km ²)	438Km ² (20Km ²)
人口	177万人	19万人 (1.2万人)	375万人 (21万人)
人口密度	238人/Km ²	96 人/km ² (48人/km ²)	8,560人/Km ² (10,500人/Km ²)
風水害避難所運営	市町村開設運営	市町村が開設運営	市・区が開設・運営
地震の避難所 運営	市町村が開設運営	市町村が開設運営 指定避難所400ヵ所 (94ヵ所 最大 ※) 4万人 (7千人※) 避難	住民・運営委員会 が開設運営 450ヵ所 (31ヵ所)

横浜市の防災活動

横浜市防災計画 全体構成等より整理（徐々に不明確化）

風水災害 （集中豪雨・台風等）

＜行政の対応＞
予測・予報を基に
順次リスクに対応

・警報・勧告・指示可能

・地域ごと避難所等の
設置・運営行政が行う

＜地域の対応＞
行政の指示に従う

地震災害（大震災）

＜行政の対応＞
発生後、対応開始
ライフライン復旧等に集中

地域ごとの対応は行わない
（できない）

＜地域の対応＞
避難所等の設置・運営
地域防災拠点運営委員会
（住民）が行う

自助・共助（自衛）の準備と知識が大切

地域防災拠点（震災時）の構成と役割

港南区防災計画（2026年）不明確化進行中

＜開設・運営＞ 震度5強が観測された場合
運営委員会が行う（地域住民） 港南区約30ヶ所

地域防災拠点の開設及び運営、情報の受伝達、救出・救護、食料等物資の配布、避難所での相互扶助、防犯パトロールなど

＜指定・サポート＞
行政（市・区などが行う）

地域防災拠点の指定、安全性、食料等物資の事前確保
医療救護、情報の受伝達や開設・運営支援などサポート

＜学校等＞

児童生徒の安全確保、学校施設の管理、地域防災拠点の開設・運営支援など

前提となっている地震震度と被害想定

- 震度 5 強および6弱
- - 歩くこと立っていることが困難
 - 食器・本等落下、家具の大半が移動、
 - ブロック塀等が崩れ壁のタイルや窓ガラスが瓦破損落下 建物が傾いたり、倒壊
- ライフラインが停止
(電気・ガス・水道が利用不可 一部列車脱線)
- 軟弱な地盤で亀裂発生し一部道路が使えない

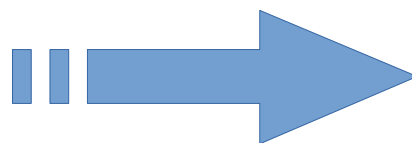
永野小学校地域の特徴と防災

永野小学校の立地と 想定災害

海からは遠い 約5Km

標高 40～70m

河川（平戸永谷川）



風雨

大雨

竜巻

河川氾濫

土砂崩れ

地震

震度5強以上

崖崩れ

液状化

建屋崩壊

火災

地震による津波は想定不要？

永野小学校地域防災拠点の現状

- 地震の場合、地域防災拠点は拠点運営委員会（住民）が自主運営 開設から運営まで（**自助・共助**）
上永谷町内会 約1,700世帯 美晴台 約600世帯
菱興 約300世帯 富士見台 約180世帯
いずみ 約200世帯 約3,000世帯 1万人
- 地域防災拠点の機能（見直し進んでいない！）
地域災害対策拠点（物資集積、情報センター、行政との連携）を強調
避難所機能（**従来主**） 最大収容300名弱？ 3%
（コロナ感染対策の場合 収容50人～60人 0.5%）
- 行政は自助・共助 在宅避難の周知を進めている。
浸透が不十分 対応する実際の計画修正、仕組み整備は徐々にしか進行していない。

地域防災拠点の運営委員会（横浜市HP 地域防災拠点より）

構成 地域住民 行政 学校等

< 平常時の主な活動 >

- (1) 避難場所運営 **マニュアルの作成**
- (2) 防災資機材等の取扱講習及び防災研修会の開催
- (3) 防災訓練の実施及び地域の防災リーダーの養成

< 防災拠点での訓練（H28版市マニュアルより） >

避難者の受け入れや、開設・運営に係る訓練（図上訓練）
「防災指導型訓練※」からの脱却

※「消火器取扱い」「三角巾」など、個人のスキルアップ

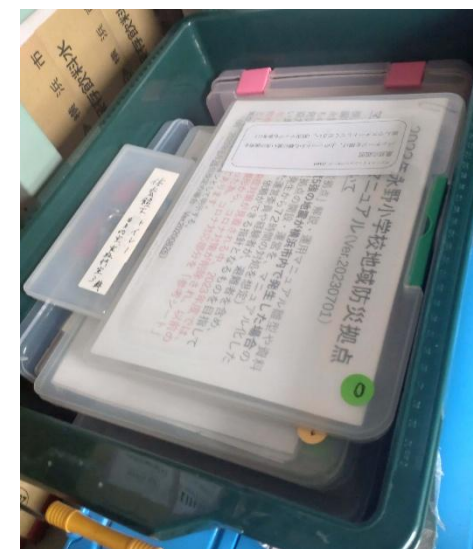
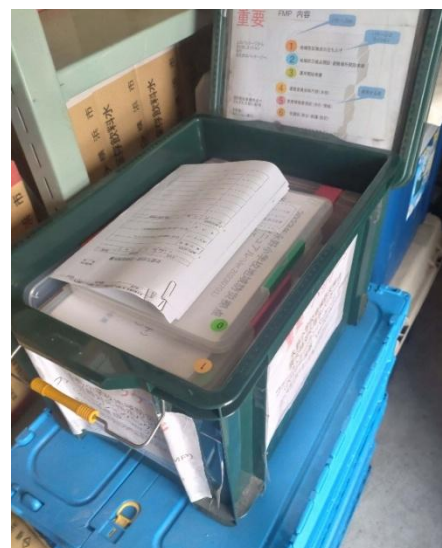
< 発災時 >

防災拠点の立上げ、運営をマニュアル等に基づき主導する。

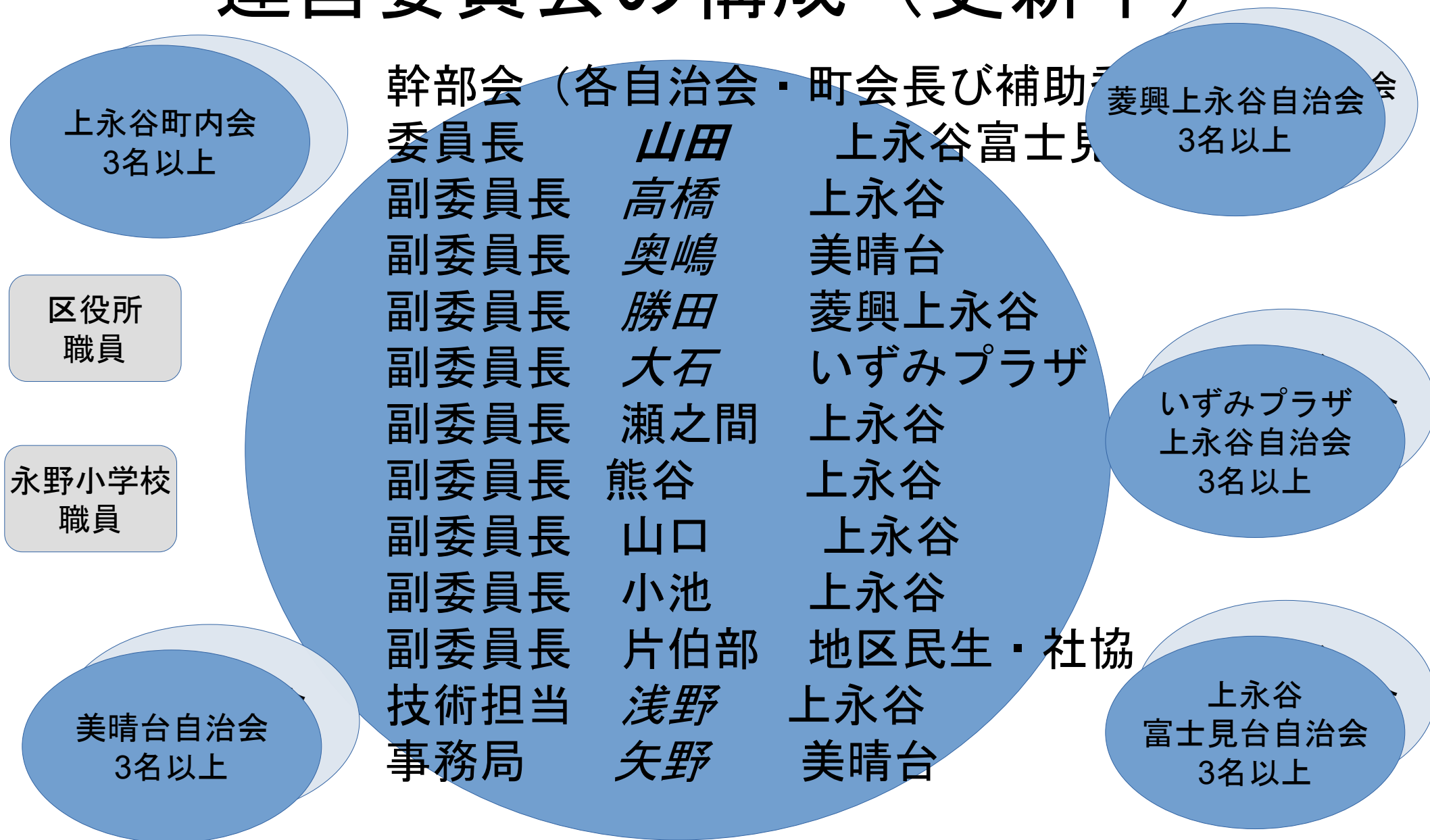
マニュアル類保管 拠点HPと以下保管場所

1：防災備蓄庫 重要パッケージ内

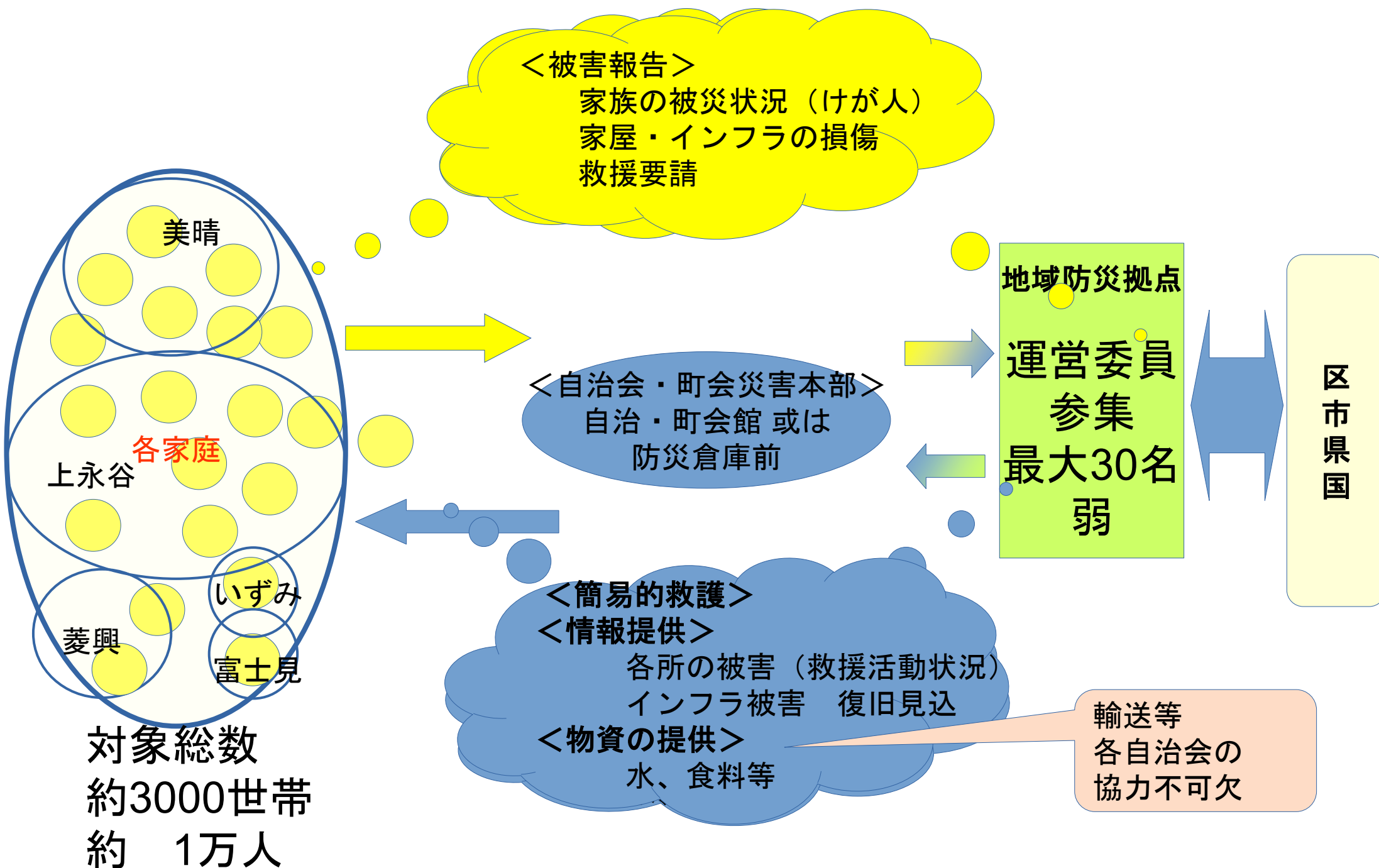
2：多目的室 キャビネット内（縮小版）

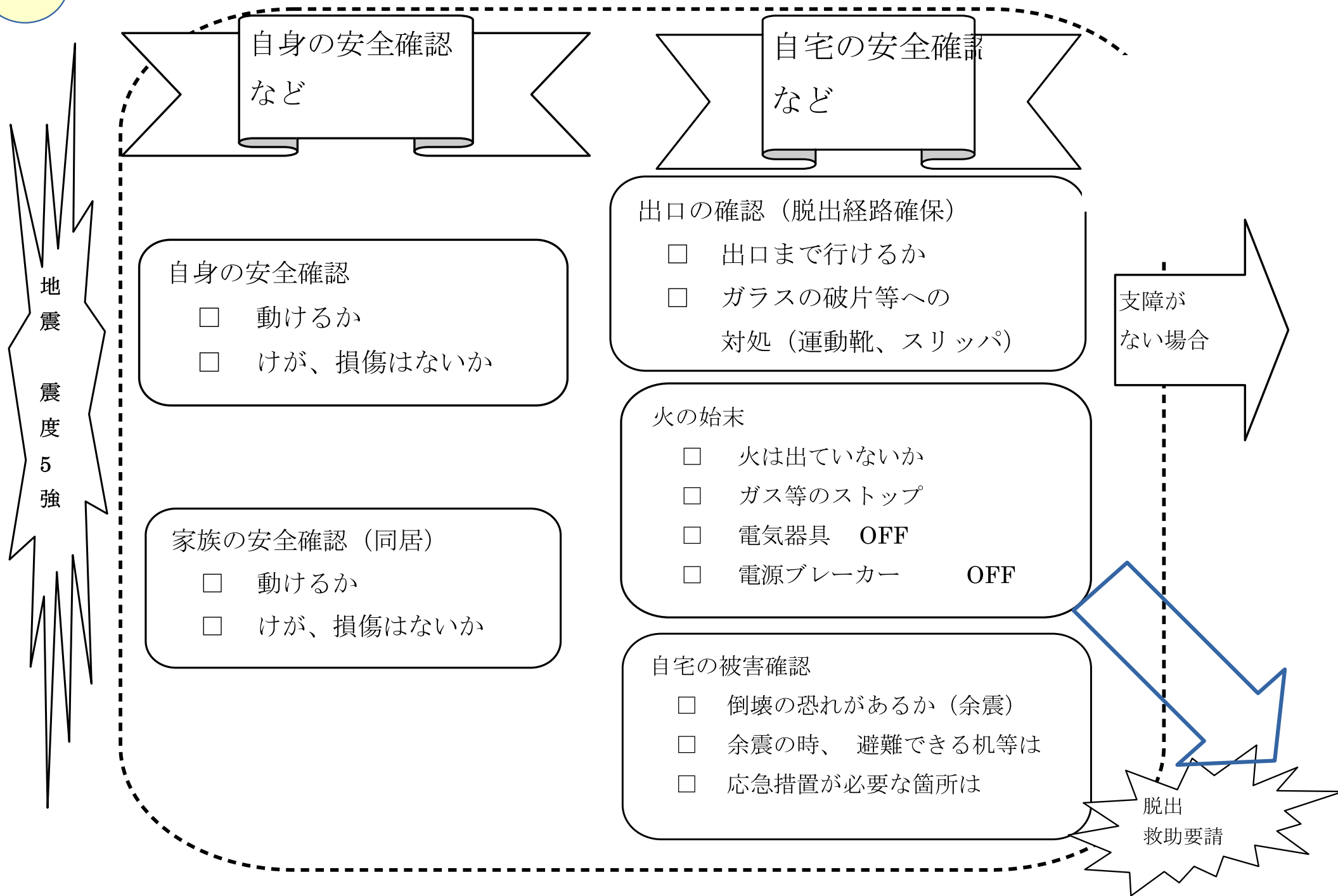


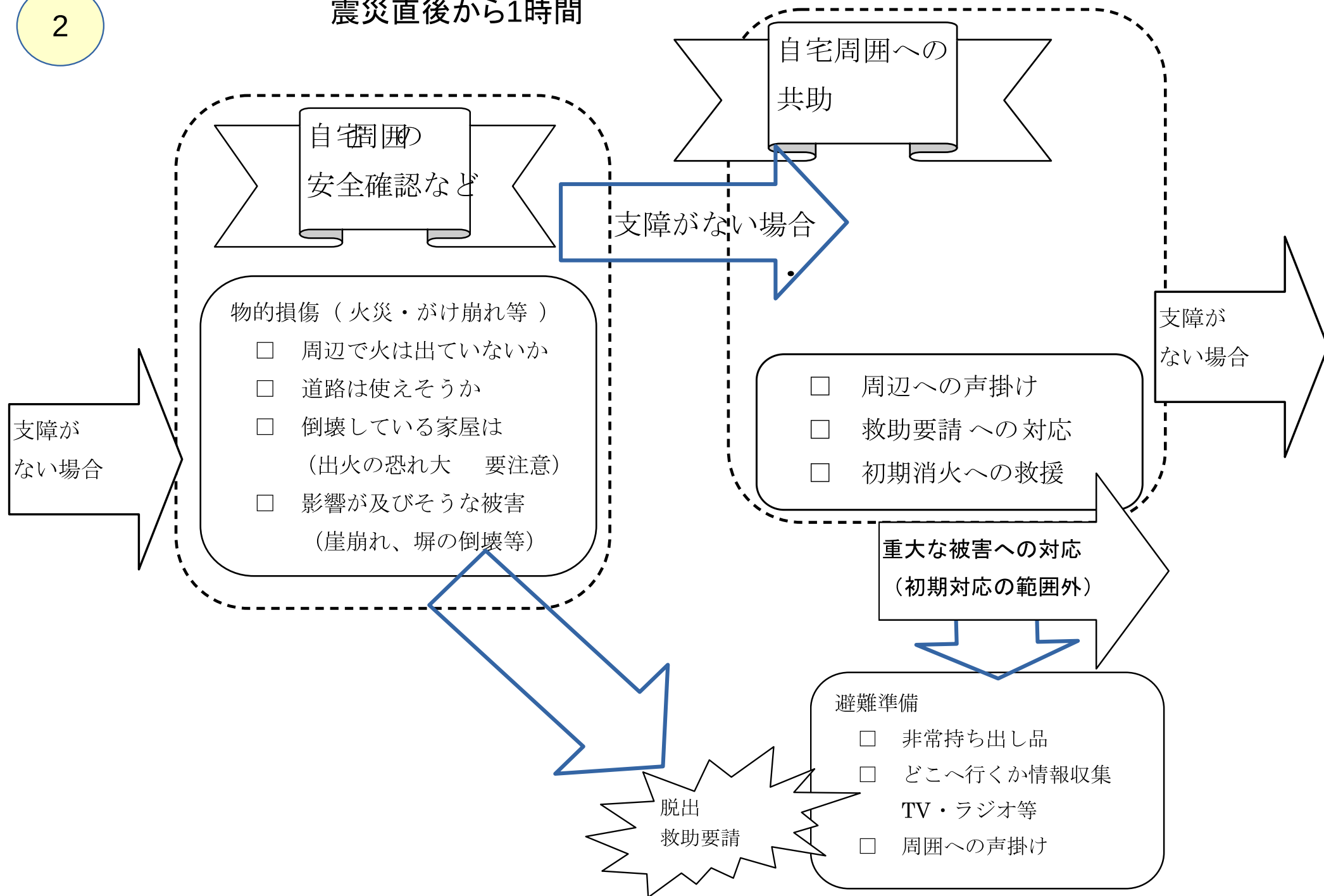
永野小学校地域防災拠点 運営委員会の構成（更新中）



震度5強 地震被災時の想定シナリオと人員規模





共助(向こう三軒両隣)対応
震災直後から1時間

町会 自治会の対応 （マニュアル）対象

町会自治会対策本部

- ☐ 町会自治会参集
- ☐ 責任者 決定
- ☐ 町会自治会会館安全確認
- ☐ 防災倉庫の安全確認

安否確認

- ☐ 被害状況カード
 - ☐ 未届け 確認
 - ☐ 台帳へ整理
- 発電機＋自治会 PC 等の活用
- ☐ 状況を更新

救助準備

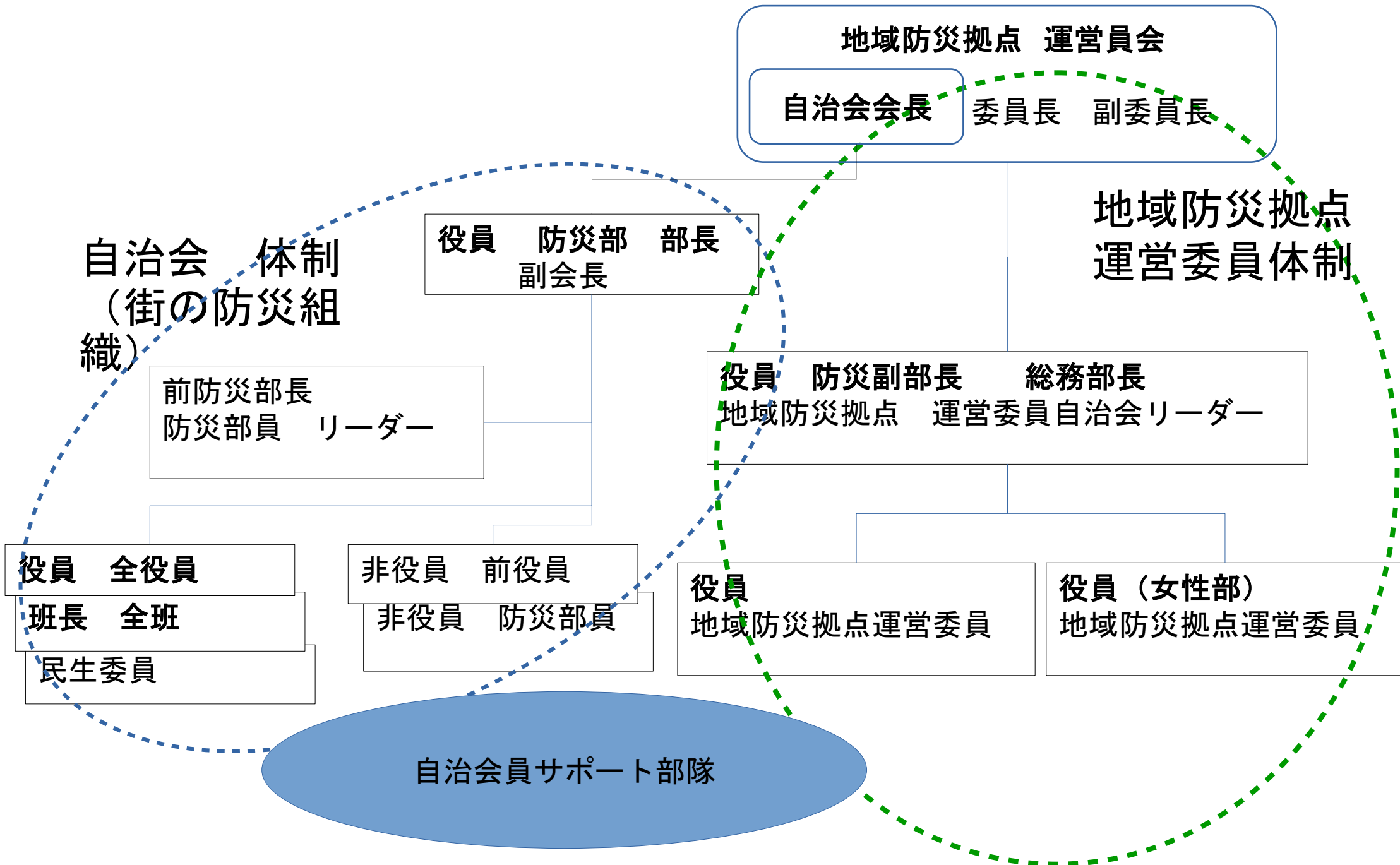
- ☐ 協力者を要請
- ☐ リーダ選任
- ☐ 各リーダーが指揮

永野小学校地域防災拠点との連携

- ☐ 被害状況報告
- ☐ 救援要請あるいは応援派遣
- ☐ 物流等の相互協力

地域
防災
拠点

自治会・町内会 災害対策・枠組み（例）



永野小学校地域防災拠点 ホームページ



URL

<https://www.naganokyoten.yamadat.com/bousai>

HP内容

<公開>

指示シート・マニュアルなど

掲示

外部リンク集

<要パスワード>

コア会議・幹部会・運営会議など

運営委員について